

研究の名称：翼状片罹患患者に対する食物摂取頻度調査票による栄養素調査

(熊本大学大学院生命科学研究部倫理審査委員会：承認番号 1535 号)

【目的】

翼状片は国内の罹患率が4～13%存在し珍しくない疾患です。放置すると翼状片を除去しても角膜の一部が瘢痕化し、視界の一部が不鮮明となる場合や強度乱視を引き起こします。翼状片は紫外線や潮風、風塵が影響しているため農業や漁業といった屋外での作業労働者に多く、県内では天草地区に多くみられます。しかし屋外作業労働者でなくても翼状片の発症のリスクがあります。毎日摂取している食事には天草地区に住む方ならではの献立が食卓に並び、栄養摂取バランスが翼状片のない人と異なっている可能性が考えられます。そこで食物摂取頻度調査票を用いて翼状片のある方と無い方の栄養摂取状況の調査を行います。これによって食生活の見直しと、食事が与える影響を明らかにし、翼状片の予防に寄与できると考えます。

【対象と方法】

2018年10月から1000人程を目安とし、上天草市立上天草総合病院に眼科入院される方が対象です。個人名、生年月日を匿名化されているものに加工しますのでプライバシーは保たれます。収集された情報は、研究終了後5年間、熊本大学大学院公衆衛生学分野にて施錠可能な場所で保管します。その後収集された情報は研究責任者がコンピューター内の専用ソフトを用いて完全抹消し、紙媒体資料はシュレッダーにて裁断し廃棄します。得られた結果は“翼状片罹患患者の栄養価は〇〇が〇%”というように統計的にまとめたものを使用し、個人を特定できる情報は含まれません。また、調査の目的以外に得られた情報は使用しません。

【医学的・社会的意義】

本研究では翼状片罹患患者の傾向や予防を把握し、かつ対象者の栄養摂取の評価も行います。食事バランスの現状把握及び改善を行うことで健康寿命を延ばし、QOL(クオリティーオブライフ)を保ちます。

【本研究に健診の結果を提供したくない方またはその家族の方について】

調査対象者の中で、本調査に参加したくないとお考えの方は、拒否することが可能です。その場合であっても、患者さんに不利益が生じることはありません。対象者から結果の開示を求められた際にも対応致し兼ねます。ご不明な点は下記連絡先までお申し出ください。

【利益相反について】

本調査は、熊本大学大学院生命科学研究部公衆衛生学分野の分野校費によって行われる予定です。本学における全研究者は費用の出資者とは無関係に公正に行い、本調査の公正さに影響を及ぼすような利害関係はありません。

【お問い合わせ先】

熊本大学大学院医学教育部修士課程医科学専攻公衆衛生学分野

上天草市立上天草総合病院 眼科

研究責任者 蕪 龍大

〒866-0293 上天草市龍ヶ岳町高戸 1419-19

電話：0969-62-1122 メール：179r5206(アットマーク)st.kumamoto-u.ac.jp